

市長が「総合的病院誘致」を断念 私は総合的病院誘致推進の立場から議会で質問いたしました



進出断念となった葵逗子病院のイメージ図



沼間3丁目病院用地

逗子海水浴場の秩序と安全は守られるか? 違反外国人グループ対策とルール強化へ 一警備拠点を強化、入れ墨露出・水上バイク飲酒運転には明確な対応

近年、特定の外国人グループによるマナー違反と海の家利用者の入れ墨の露出、水上バイクの飲酒運転が問題視されている逗子海岸。私はこれまで市に対し、実効性ある対策の強化を求めてきました。

今夏は、市がパトロール強化や注意喚起3回後の退去勧告を実施するほか、混雑期には警備拠点を違反外国人グループの近くに設置し、未然防止を図る方針が示されました。

また、「2025年度 逗子海水浴場事業者・利用者ルール」では、海の家が利用客の入れ墨・タトゥー露出を注意し、対応できない場合は市へ通報することを明文化。水上オートバイ操縦者への酒類提供と共に、違反するとペナルティ対象になります。

逗子海岸のルールと秩序を守り、市民や観光客が安全に楽しめる環境を取り戻すため、今後も海岸問題に取り組んでいきます。

令和7年度施政方針で市長は、逗子地域医療検討会の報告を受け、「総合的病院がなくても、市民が安心して暮らせる地域医療を目指す」と表明しました。しかし、これは市が長年取り組んできた総合病院誘致方針の撤回を意味します。私は議会で、この方針転換に断固反対する立場から質問し、その理由や中身の矛盾を厳しく指摘しました。

市長は具体案を示せず

市長は理由として「病床配分」「医療人材不足」「社会環境の変化」などを挙げましたが、いずれも曖昧で、地域医療の危機を解決する内容にはなっていません。特に、横須賀三浦医療圏における急性期・回復期の病床不足については、明確な対策も代替案も提示されていません。

「総合病院を必要とする5つの課題」市長の答弁、これで安心できますか?

5つの課題	市長の答弁	私の見解
市内で入院できる病院	在宅医療で対応できる	急性期・回復期の病床は不足、高齢者の対応が不十分
救急医療体制	市外4病院へ搬送可能	搬送時間は46.6分で2016年より4分18秒増加し、悪化
パンデミック対応	総括が先	コロナが収束し2年、次の感染症に備える具体策なし
災害医療体制	救護所1カ所へ集約	医師が常駐しなければ市民の命は守れない
後方支援病院	現状把握から始めたい	在宅医療には、緊急時に入院できる病院が必要

私の考え方「総合病院は必要」

逗子の現実は、医療空白地帯・高齢化の進行・災害リスクの高さという課題が重なっています。こうした現実に向き合うには、市民の命と安心を守る「総合病院の誘致」が必要です。

「病院がなくても大丈夫」と言う前に、本当に市民の声を聞いたのでしょうか? 私はこれからも、市民の命を守る立場から、地域医療の充実と総合病院誘致の実現に全力で取り組んでいきます。



今夏の逗子海水浴場海開き式



逗子市議会議員
菊池俊一

プロフィール

1970年2月6日 逗子で生まれる A型
1976年3月 逗子幼稚園 卒園
1982年3月 逗子小学校 卒業
少年野球/逗子オリーブス
ミニバス/ファミリーズ
1985年3月 久木中学校 卒業 陸上競技部
1988年3月 追浜高校 卒業 ラグビー部
1993年3月 日本大学生産工学部機械工学科 卒業
夏は3年間、葉山の海岸監視員を経験
1993年4月 関東自動車工業(株) 入社 開発設計部
労働大臣 甘利明 秘書
1998年9月 逗子市議会議員 初当選(6期連続当選)
2002年3月 以降 逗子小学校 PTA会長(2期)
逗子中学校 PTA会長(2期)
逗子市PTA連絡協議会 会長(2期)
逗子市議会 議長(第61代、第64代)
関東市議会議長会 副会長
現在 逗子葉山ラグビースクール 顧問
逗子海岸ウォーターパーク実行委員会 顧問
湘南獣医師会 顧問
逗子7丁目東自治会 顧問
逗子落書き消し隊 代表
735style 顧問
逗子市青少年指導員
海上保安庁指定 海上安全指導員
家族/4人家族(妻・長女・次女)
趣味/自動車・SUP・ガーデニング・DIY・スノーボード
スポーツ/ラグビー・ライフセービング・短距離走

海と学びの拠点へ 渚マリーナ跡地 市民と海をつなぐ教育の場に —継続利用だけでなく、未来志向の再活用を!

令和9年3月末で閉鎖予定の渚マリーナ跡地について「マリーナ施設継続」だけでなく、子どもや地域住民が海について学び・交流できる場所としての活用を提案しました。

市長も、「小坪漁港海業振興基本計画」の中で、渚マリーナを海洋環境教育の拠点として位置づける方針を明言しました。

地域の声を反映しながら、海洋学習・体験の拠点を目指した整備を求めていきます。



渚マリーナ

池子の森自然公園 駐車場不足が常態化 —大会・イベント時の混雑解消へ、 臨時駐車場の早期整備を

池子の森自然公園では、大会・イベント開催時に駐車場が満車となり、来園者が園内を右往左往する事態が続いています。

私は再三、ビジターセンター横の広場の臨時駐車場化を提案してきましたが、今回の答弁では「競技大会時に400mトラック外側に関係車両の臨時駐車」との対応が示されました。

週末や大会・イベント時に限定した臨時駐車区画の早期実施を求めていきます。



池子の森自然公園400mトラック

「まちづくり条例は誰のため?」 —サブリース開発に懸念

近年、逗子市内ではサブリース型共同住宅の開発が急増しています。オーナーが現地に関与せず進むケースが多く、まちづくり条例に定められた「周辺環境への配慮」「景観保全」などの責務が果たされない懸念があります。

私はこうした開発に、条例の理念を徹底するよう求めました。

市長は、事業形態を問わず条例に基づく適切な説明と協議を指導していくと答弁しました。

住民トラブルを防ぐためにも、行政が住民側に寄り添った対応を強く求めていきます。



サブリース開発の一例

17年越しの実現!田越川沿いの通路が開通 —下田橋～柳原公園

田越川右岸の下田橋から柳原公園に至る管理用通路が、7月22日に開通しました。

2008年に神奈川県へ要望し、計画が進み始めたものの、工期は幾度となく延長されましたが、17年の歳月を経て、ようやく実現しました。



田越川管理通路



逗子小学校の壁のない教室

逗子小「先生の声が聞こえない教室!?」 —教室と廊下の壁設置を改めて要望

逗子小学校では、教室と廊下の間に壁がない「オープンスペース型」の構造が採用されています。

私はこれまで、この構造により「授業への集中がしにくい」「教員の声が聞き取りにくい」「空調の効率が悪い」といった課題を指摘し、壁やパーテーションの設置を求めてきました。

今回、その進捗を確認しましたが、教育長からは「遮音性などの課題は認識しているが、緊急性の高い他の課題が多く、実現には至っていない」との答弁でした。

私は「先生の声が聞こえない教室は、もはや学校ではない」との思いで、児童の学習環境を第一に考えた改善を強く求めていきます。

「また描かれても、また消す!」—逗子海岸落書き消しも19年目

6月21日に逗子海岸で落書き消しを行いました。2007年に「逗子落書き消し隊」として始めた活動は今年で19年目。約30名が参加し、渚橋横の壁をきれいにしました。

しかし、数日後に再び同じ落書きが…すぐに市職員と消しました。

また描かれても、また消します! 美しい逗子海岸を守るため、これからも続けていきます。



逗子海岸落書き消しの様子

皆様の市政に対するご意見をお聞かせください。

逗子市議会議員

きく ち しゅん い ち

菊池俊一

逗子市桜山1-14-2
TEL : 070-8401-0942
E-mail : kikuchi@shunichi.jp

www.shunichi.jp



HP、フェイスブック、X(旧ツイッター)、インスタ、ブログもご覧ください。